



第36回国民文化祭、第21回全国障害者芸術・文化祭和歌山市実行委員会

事業記録集



令和4年2月

■目次

会長ごあいさつ	1
概要	2
事業別報告	4
おもてなし	27
広報活動	29
掲載記録	32
資料編	33
準備経過	37
実行委員会会則、委員名簿	38

■会長ごあいさつ

第 36 回国民文化祭、第 21 回全国障害者芸術・文化祭
和歌山市実行委員会 会長

和歌山市長 尾花 正 啓



「第 36 回国民文化祭・わかやま 2021、第 21 回全国障害者芸術・文化祭わかやま大会」が、和歌山市をはじめ和歌山県内全域で盛大に開催されたことを大変嬉しく思います。

新型コロナウイルスの影響であらゆるイベントや文化芸術活動が制限されるなか、無事本文化祭を終えることができましたのも、格別のご理解とご協力をいただきました関係者の皆さまのおかげと心より感謝しております。

和歌山市内では、本文化祭の開・閉会式を含む 65 事業が開催され、そのうち本市及び和歌山市実行委員会では、伝統芸能や音楽・演劇・美術のほか、地域の自然・歴史・文化的な特色を生かしたのも、障害のある方の文化芸術活動に着目したものなど、幅広い分野の 22 事業を実施し、多くの皆さまにご来場いただきました。2021 年 10 月にオープンした和歌山城ホールをはじめとする市内各地で連日様々な事業が行われ、また、期間中には紀州おどり「ぶんだら節」などのイベントも開催され、まちなかの賑わいが創出されました。

和歌山市民の方々には、舞台・展示の鑑賞だけでなく、舞台発表や作品の出展、ボランティア、おもてなしなど多方面でご参加いただきました。

本市では今回の文化祭を契機に、文化芸術活動のさらなる活性化を目指し、市民の方が文化や芸術に気軽に触れることができ、文化芸術に興味や関心をもってもらえるよう、より一層努めてまいります。

結びに、本文化祭の開催にあたりご支援、ご協力を賜りました多くの皆さまに重ねてお礼を申し上げます、あいさついたします。

■概要

○紀の国わかやま文化祭 2021 について

名称	第 36 回国民文化祭・わかやま 2021 第 21 回全国障害者芸術・文化祭わかやま大会
愛称	紀の国わかやま文化祭 2021
大会キャッチフレーズ	山青し 海青し 文化は輝く
会期	2021 年 10 月 30 日（土）～ 11 月 21 日（日） 23 日間
会場	和歌山県内各地
主催者	文化庁、厚生労働省、和歌山県、和歌山県実行委員会、県内市町村、文化団体、障害者関係団体 等
マスコットキャラクター	きいちゃん
基本方針	・県民総参加で文化力の更なる向上を目指す ・先人が育んできた文化を継承する ・交流の中で相互理解と新しい文化の創造を促す



○事業構成

分野別交流事業

全国から出演者や作品を募集し、分野別に公演や展示、展覧会を実施する事業

地域文化発信事業

地域の特色を十分に発揮し、和歌山の魅力を発信する事業

障害者交流事業

障害のある方の日ごろの活動成果の発表の場を創出することで、障害への理解を深めるとともに、障害のある方の文化芸術活動の活性化につなげる事業

特別連携事業

実行委員会以外の機関が実施する、特徴的な文化を発信する事業で、文化祭の会期中に開催される事業

○和歌山市における開催状況

分野別交流事業	10 事業	地域文化発信事業	8 事業
障害者交流事業	2 事業	特別連携事業	2 事業

和歌山市内では、市が主催又は市と文化芸術団体が共催した事業以外に、開閉会式、和歌山県や文化芸術団体が主催、文化祭に合わせて実施した催しなど多種多様なイベントが開催されました。それらを含めると紀の国わかやま文化祭 2021 の期間中、和歌山市内で 65 もの文化芸術イベントが開催されました。

和歌山市主催・共催事業においては、のべ 3,247 人が出演し、観客やスタッフ、ボランティアを含めると参加者は 98,867 人でした。また、のべ 6,654 人が絵画や生け花などの作品 11,322 点を出品・出展しました。

国民文化祭を単なる文化団体の発表の場だけではなく、多くの市民が参加する「お祭り」と捉え、市民の皆さまに参加していただき、様々な「おもてなし」を実施しました。

○和歌山市主催事業一覧

事業名	開催日	会場
太鼓の祭典	10/31	和歌山城ホール
わかやま洋舞フェスティバル	10/31	和歌山県民文化会館
合唱の祭典～オーケストラで歌おう！～	11/6～11/7	和歌山城ホール
小倉百人一首競技かるた全国大会	11/6～11/7	和歌山県立体育館
オーケストラの祭典	11/7	和歌山県民文化会館
わかやま・いけばな芸術展～きのくに花回廊～	①11/11～11/15 ②11/13～11/14	①近鉄百貨店和歌山店 ②和歌山城ホール
紀の国わかやま文化祭 2021 和歌山城茶会	11/13～11/14、 11/20～11/21	和歌山城ホール、紅松庵
きのくに短歌の祭典	11/10～11/14	和歌山県民文化会館
吹奏楽の祭典	11/14	和歌山県民文化会館
きのくに舞台芸術演劇祭	11/17～11/20	和歌山城ホール
和歌山城 光と音の饗宴	10/30～10/31	和歌山城公園内、西の丸広場等
有吉佐和子生誕90年 ふるさとと文学 2021 ～有吉佐和子の和歌山	11/3	和歌山城ホール
カダハク2021	10/30～11/21	友ヶ島、加太総合交流センター、 青少年国際交流センター等
和歌の聖地 和歌の浦魅力探訪	11/3～11/8	和歌の浦周辺、玉津島神社、和歌の 浦アート・キューブ
わかやま市民みんなの作品展	11/18～11/21	和歌山城ホール
和歌山文化協会総合美術展	10/30～11/3	和歌山城ホール
和歌山城まちなかキャンドルイルミネーション・ 竹燈夜	11/6～11/7	和歌山城公園、モンティグレ和歌 山、スマイルホテルほか
和歌山市公民館フェスティバル	11/12～11/14	和歌山城ホール
紀らり！まちなか美術館	10/30～11/21	和歌山駅・和歌山市駅・和歌山城周 辺の店舗等
バリアフリー映画祭	11/6～11/7	ジストシネマ和歌山
特別展 「加太淡嶋神社展－女性・漁民の祈り－」	10/9～12/12	和歌山市立博物館
和歌山城天守閣・わかやま歴史館 秋の共同企 画展「和歌山城天守閣を建てた人たち」	10/14～11/22	和歌山城天守閣、わかやま歴史館
第 20 回和歌山ジャズマラソン	【開催中止】 11/14	和歌山城公園前、和歌山マリーナシ ティ

■分野別交流事業

太鼓の祭典

開催日 令和3年10月31日(日)

会場 和歌山城ホール 大ホール



●実施状況

今大会は、13府県21団体による郷土色豊かで勇壮な太鼓の響演を行いました。オープニングでは、地元の和歌山県太鼓連盟 宇治田良一会長が代表を務める黒潮躍虎太鼓保存会による演奏が披露され、盛大な幕開けになりました。続く第1部から第3部は全国より応募のあった15団体が各団体の特色を活かした演奏を行い、第4部では特別出演として日本を代表する5団体が出演し、演奏ごとに多くの来場者から大きな拍手がわき起こりました。子供から高齢者、老若男女、また、障害の有無にかかわらず、多様な団体にご出演いただきました。

なお、新型コロナウイルス感染症対策として(公財)日本太鼓財団が策定した「太鼓演奏における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」に基づき、感染対策を講じて実施しました。多くの制限がある中での実施でしたが、熱心な太鼓ファンが開場前から詰めかけ、約6時間にもわたる演奏を心ゆくまで堪能していただきました。また、障害のあるお客様もお越しいただき、音だけでなく、身体に伝わる響きを楽しんでいらっしゃいました。ホワイエに設置した太鼓展示では、太鼓等の製造や販売を行っている企業3社に協力してもらい、太鼓の歴史や製造工程など、工夫を凝らした展示に出演者から来場者まで多くの方が興味を示していました。

全国各地で活躍している太鼓団体が、一堂に会して演奏を行うことで、出演者にとっては大きな刺激になり、来場者には、各地を代表する太鼓の演奏を一度に鑑賞できるまたとない機会を提供することができました。

●プログラム

オープニング演奏 黒潮躍虎太鼓保存会

主催者挨拶

第1部 5 団体

華音 打吹童子ばやし

天邪鬼流 和太鼓 麗彩 DRUM 輪

大治太鼓保存会

第2部 5 団体

和太鼓集団 和響

福岡大学 和太鼓部「鼓舞猿」

太鼓集団 潮 和太鼓衆団 高松一家

鼓國雷響 JAPAN

第3部 5 団体

天音太鼓保存会 和太鼓集団 打魂

金光藤蔭高等学校和太鼓部「鼓響」

境原和太鼓クラブ 和太鼓サスケ

第4部 特別出演 5 団体

橘太鼓「響座」ジュニア

越中いさみ太鼓保存会 名護桜太鼓

尾張新次郎太鼓保存会

豊の国ゆふいん源流太鼓

フィナーレ

●主管

和歌山県太鼓連盟

●主催者

文化庁 厚生労働省 和歌山県 和歌山県教育委員会
和歌山市 和歌山市教育委員会 第36回国民文化祭、
第21回全国障害者芸術・文化祭和歌山県実行委員会
第36回国民文化祭、第21回全国障害者芸術・文化祭
和歌山市実行委員会 公益財団法人日本太鼓財団

■分野別交流事業

わかやま洋舞フェスティバル

開催日 令和3年10月31日（日）

会場 和歌山県民文化会館 大ホール



●実施状況

全国からクラシックバレエ・モダンダンス・コンテンポラリーダンスの団体が集まり、「わかやま洋舞フェスティバル」を開催しました。

第1部では、和歌山県内の7団体がクラシックバレエやモダンダンスの作品をそれぞれ披露しました。第2部では、公募による全国6団体がクラシックやモダンダンス、コンテンポラリーの作品を上演しました。第3部では堀川美和氏の演出・振付でコンテンポラリー作品を上演しました。和歌山の子供たちと7名のゲストダンサーが共演し、明るく壮大な作品となりました。1年以上前から練習を積み重ねた成果を十分発揮できた公演となりました。

県外団体をお招きし様々なダンスを披露していただくことで、和歌山の出演者が刺激を受け、お互いが向上する事ができました。また観客の方々にも、全国の様々なジャンルのダンスを鑑賞することで、ダンスの奥深さや楽しさを感じていただくことができました。

●プログラム

第1部 バレエ・モダンダンスの祭典

睦バレエ研究所「美しき青きドナウ」
かつらぎバレエ研究所「遠い夏に思いを・・・」
シュウバレエスタジオ「パキータよりパ・ド・トロワ」
SOモダンバレエ教室「恵みの雨心地よき風」
Angel.K.Ballet「Khachaturian 組曲」
ダンスシャワーギャザリング「悠久の里・・・」
アーツクラシックバレエ「紀の国からのごあいさつ」



第2部 洋舞踊の饗宴～ようこそ和歌山へ～

Kyoto Dance Exchange(KDE)「はらりひらり Distance, This dance !」

ヒサミ・バレエ・アート「マルキ・タンカ」

日本洋舞連合 J.I.D.U.「加賀五彩による即興詩より第一章」

埼玉県舞踊協会「太陽の女神」

流山市文化協会洋舞部「Esmeralda より Pas de six」

PROGRESS「三日月」

第3部 Sensational Dance Arts

演出・振付:堀川美和

出演:和歌山洋舞協会会員

ゲストダンサー:大前光市、青木崇、西岡憲吾、有馬和弥、福谷葉子、貝阿彌みこ、山川奈美

歌唱指導・ソプラノ:津島千鶴

ピアノ:チャンスジョン

●主催者

文化庁 厚生労働省 和歌山県 和歌山県教育委員会
和歌山市 和歌山市教育委員会 第36回国民文化祭、
第21回全国障害者芸術・文化祭和歌山県実行委員会
第36回国民文化祭、第21回全国障害者芸術・文化祭
和歌山市実行委員会 一般社団法人現代舞踊協会
わかやま洋舞フェスティバル実行委員会

■分野別交流事業

合唱の祭典～オーケストラで歌おう！～

開催日 令和3年11月6日(土)～11月7日(日)

会場 和歌山城ホール 大ホール



●実施状況

11月6日(土)、11月7日(日)の2日間にわたって「合唱の祭典～オーケストラで歌おう！～」を開催しました。

1日目の「合唱の祭典」では、全国から24の合唱団が集まり多彩なステージが行われました。

2日目の「オーケストラで歌おう！」では、参加者約100名を全国から募り、「Missa Brevis」(混声合唱)と、松下耕氏が今回のために新たに書き下ろした楽曲「Missa Orientalis」「讃歌・未来へ」(女声合唱)を、松下耕氏の指揮のもと日本センチュリー交響楽団の演奏で披露しました。

●出演団体

○11月6日(土)「合唱の祭典」

全24団体

男声合唱団ほえーる きみの児童合唱団

大阪ユースクワイア 女声合唱団 Mimosa

Camphora Ventus

女声合唱団ヴォーチェ・フォンターナ

混声合唱団コーロ・クオーレ メール・シャンテ

ザ・シーブリーズ 女声コーラス ラ・フルール

和歌山大学混声合唱団 Ensemble Mikanier

コール・フリーリー コールなでしこ

和歌山混声合唱団 アンサンブル・ポケット

海南児童合唱団&マリーナコーラス

合唱団 LABO 鳥取女声合唱団

岸和田市少年少女合唱団 御坊少年少女合唱団

紀の国わかやま合唱団 和歌山児童合唱団

○11月7日(日)「オーケストラで歌おう！」

全13団体

和歌山市民合唱団 コーラス・パレット

合唱団“つれもていこら”

Wakayama Chorus MICE

和歌山混声合唱団 アンサンブル和歌山

きみの児童合唱団 Ensemble Mikanier

紀の国わかやま合唱団

レディースシンガーズ Sophia

コール・フリーリー 大阪ユースクワイア

ヴェネルディ女声合唱団

他、個人参加者12名

●主催者

文化庁 厚生労働省 和歌山県 和歌山県教育委員会
和歌山市 和歌山市教育委員会 第36回国民文化祭、
第21回全国障害者芸術・文化祭和歌山県実行委員会
第36回国民文化祭、第21回全国障害者芸術・文化祭
和歌山市実行委員会 一般社団法人全日本合唱連盟
和歌山県合唱連盟

■分野別交流事業

小倉百人一首競技かるた全国大会

開催日 令和3年11月6日(土)～11月7日(日)

会場 和歌山県立体育館



●実施状況

小倉百人一首競技かるた全国大会が和歌山市で開催され、44都道府県の代表チームが参加し3人一組の団体戦に挑みました。11月6日(土)に行われた予選リーグでは、全チームが11ブロックに分かれて3試合を行いました。11月7日(日)の決勝トーナメントでは予選を勝ち抜いた16チームが熱戦を繰り広げ、決勝の京都府かるた協会と福岡県かるた協会の対戦では、2対1の接戦で京都府かるた協会が勝利し優勝を飾りました。表彰式では、1位から4位のチームに、賞状ならびに優勝杯、準優勝杯のほか、記念メダル等の副賞が授与されました。

新型コロナウイルス感染症対策として、対戦人数を5人制から3人制に縮小(登録人数も8人から6人に制限)し、開会式参加者を各チーム代表1名に制限する等の簡素化を図ったほか、マスク着用、掛け声無し、さらに無観客とする等の措置を行いました。また、(一社)全日本かるた協会の協力のもと、各試合結果の速報を同協会のホームページにも掲載することで、会場の速報掲示板前の密を避けるとともに、無観客開催により会場での応援ができないチーム関係者の方々にも即座に試合結果をお伝えすることができました。

久しぶりの全国大会開催に選手や役員の方々から喜びの声をいただき、新たな出会いと交流の場を創ることができました。現役、歴代の名人やクイーンが参加するハイレベルな戦いと全員和装の華やかな姿を一般の方々にご覧いただけなかったことは大変残念でしたが、安全安心を最優先に大会運営を行った

結果、参加団体から「来年もまた参加したいと思える大会であった」とのご意見を頂き、ウィズコロナの時代における全国大会開催の新しいモデルケースを提案した大会となりました。

●プログラム

11月6日(土)

開会式/予選リーグ第1試合～第3試合/
予選リーグ閉会式

11月7日(日)

決勝トーナメント1回戦・2回戦/準決勝/決勝戦・
3位決定戦/閉会式(表彰式)

●表彰

1位(文部科学大臣賞) 京都府かるた協会
2位(国民文化祭実行委員会会長賞)
福岡県かるた協会
3位(和歌山県知事賞) 栃木県かるた協会
4位(和歌山市長賞) 福井県かるた協会

●主催者

文化庁 厚生労働省 和歌山県 和歌山県教育委員会
和歌山市 和歌山市教育委員会 第36回国民文化祭、
第21回全国障害者芸術・文化祭和歌山県実行委員会
第36回国民文化祭、第21回全国障害者芸術・文化祭
和歌山市実行委員会 一般社団法人全日本かるた協会
和歌山県かるた協会

■分野別交流事業

オーケストラの祭典

開催日 令和3年11月7日（日）

会場 和歌山県民文化会館 大ホール



●実施状況

「困難を乗り越えて音楽を」というサブテーマのもと、国民文化祭としては3年振りの「オーケストラの祭典」が、コロナ禍という未曾有の『困難を乗り越えて』開催され、全国各地のオーケストラから和歌山の地に集った参加者や、聴衆の心に、音楽の深い感動を残しました。

また、東日本大震災と紀伊半島大水害より10年の節目にあたり、紀州徳川家第16代当主で『音楽の殿様』と呼ばれた徳川頼貞侯爵のために作曲された序曲と、震災からの復興を祈念する曲目を、和歌山市交響楽団と和歌山市中学校合同合唱団が歓迎演奏として披露しました。とりわけ中学生の清澄なる歌声は、災害の犠牲となられた人々への追悼の念と次代への希望を届ける光となりました。

●プログラム

○第1部 歓迎演奏

(和歌山市交響楽団と和歌山市中学校合同合唱団)

ネイラー 作曲／序曲「徳川頼貞」

菅野よう子 作曲／花は咲く

小田美樹 作曲／群青

○第2部 合同演奏

(全国のオーケストラの代表と和歌山市交響楽団)

チャイコフスキー 作曲／交響曲第6番短調「悲愴」

●出演団体

秋田市管弦楽団 アンサンブル・グリユーネ 大阪市民管弦楽団 岡山交響楽団 金沢交響楽団 紀南交響楽団 高知交響楽団 郡山市民オーケストラ 堺フィルハーモニー 山陽女学園管弦楽部 四国フィルハーモニー 静岡フィルハーモニー 吹田市交響楽団 瀬戸市民オーケストラ センチュリー・ユースオーケストラ 相愛オーケストラ 奈良交響楽団 習志野フィルハーモニー 浜松交響楽団 広島市民オーケストラ 福島市民オーケストラ 松戸シティフィルハーモニー 丸の内交響楽団 山口県交響楽団 山梨交響楽団 横浜交響楽団 四日市交響楽団 和歌山市交響楽団 和歌山市中学校合同合唱団 和歌山大学交響楽団 (五十音順・名称一部省略)

●出演者

特別出演者：木ノ原成子・寺西一巳・北島佳奈

指揮者：小川雅之(第1部)・江田司(第2部)

●主催者

文化庁 厚生労働省 和歌山県 和歌山県教育委員会 和歌山市 和歌山市教育委員会 第36回国民文化祭、第21回全国障害者芸術・文化祭和歌山県実行委員会 第36回国民文化祭、第21回全国障害者芸術・文化祭和歌山市実行委員会 公益社団法人日本アマチュアオーケストラ連盟 和歌山市交響楽団

■分野別交流事業

わかやま・いけばな芸術展～きのくに花回廊～

開催日 令和3年11月11日(木)～11月15日(月)

会場 近鉄百貨店和歌山店、和歌山城ホール



●実施状況

多くの方にいけばな文化に触れていただき理解を深めていただくこと、そして新たな地域文化の発見と交流の輪を広げて更なる地域の活性化に繋いでいくことを目的として、「わかやま・いけばな芸術展～きのくに花回廊～」を開催しました。今回は、いけばなでつなぐ文化の「和」をサブテーマに和歌山市内の2つの会場で同時に開催しました。

近鉄百貨店和歌山店会場では、11月11日(木)～15日(月)の5日間、和歌山県いけばな協会の会員が前後期の二期に分かれて日ごろの研鑽の成果を発揮した作品を展示しました。

和歌山城ホール会場では、11月13日(土)～14日(日)の2日間、公益財団法人日本いけばな芸術協会の役員であり日本を代表する華道家が流派を超えて、作品を展示しました。作品は2階・3階の和歌山城を望めるスペースに展示され、夜間には道行く人々にもライトアップされた作品を楽しんでいただきました。

会場には作品のほかに、いけばな年表や伝統様式いけばなの参考作品を展示するなどし、普段いけばなになじみのない方々にも親しんでいただきました。

期間中、8,000人を超える方々に来場していただき、いけばなのある美しい時間を多くの方々と共有することができました。本事業を通じて、交流の輪を広げ、いけばなの魅力を広く伝えることができ、いけばな文化の振興と地域の更なる活性化に繋がる良い機会となりました。

●出展者

・公益財団法人日本いけばな芸術協会
(順不同・敬称略)

理事長	大津光章	都未生流	家元
副理事長	小原宏貴	小原流	家元
常任理事	佐伯一甫	未生流(庵家)	家元
常任理事	中山高甫	未生流中山文甫会	会長
常任理事	肥原慶甫	未生流	家元
評議員	梅田和伸	一光流	家元
理事	岡本青珠	草月流	理事
理事	桑原仙溪	桑原専慶流	家元
理事	辻井ミカ	嵯峨御流	華務長
理事	西阪保則	専慶流	家元嗣

・和歌山県いけばな協会会員 250名

●主催者

文化庁 厚生労働省 和歌山県 和歌山県教育委員会
和歌山市 和歌山市教育委員会 第36回国民文化祭、
第21回全国障害者芸術・文化祭和歌山県実行委員会
第36回国民文化祭、第21回全国障害者芸術・文化祭
和歌山市実行委員会 公益財団法人日本いけばな芸術協会 和歌山県いけばな協会

■分野別交流事業

紀の国わかやま文化祭2021 和歌山城茶会

開催日 令和3年11月13日(土)～11月14日(日)、
11月20日(土)～11月21日(日)

会場 和歌山城ホール、和歌山城紅葉溪庭園内 紅松庵



●実施状況

毎年秋に開催し、紅葉に染まる和歌山城のそばでお茶を楽しむ「和歌山城市民茶会」。日本の伝統文化である茶道をとおして、紀州和歌山が育んだ歴史文化に触れる茶会を開催し、和歌山の素晴らしさを内外に知っていただくとともに茶道の魅力を広める、そんな目的で始まった本イベントも今回で15回目を迎えることとなりました。

今年は「紀の国わかやま文化祭2021 和歌山城茶会」と名前を変え、場所も完成したばかりの和歌山城ホールで11月13日(土)、14日(日)、20日(土)、21日(日)の4日間での開催となりました。

13日・14日は表千家同門会和歌山県支部の運営のもと、貴重な茶道具の展示や正座での伝統的な茶道の作法を学び、20日・21日は茶道裏千家淡交会和歌山支部の運営のもと、椅子とテーブルを使用した立礼式でのおもてなしをするなど、それぞれが工夫を凝らし、若者や初心者でも気軽にお茶を楽しめる機会を創出することができました。

初めての場所での開催という慣れない状況ではありましたが、すべての日程で天候に恵まれ、想定以上の延べ1,117人もの方々にお越しいただき、無事終了することが出来ました。

また、13日(土)と20日(土)に和歌山城紅葉溪庭園内の紅松庵で同時に開催した「こども茶道体験」でも、2日間で79人の多くの子供たちが先生の丁寧な指導のもと、おいしいお茶菓子をいただき、本格的なお茶の作法を学ぶことができました。

会場で実施していたアンケートにも多くの方にご回答いただき、初心者の方からは「敷居が高いと思っていた茶道を気軽に体験することができて良かった」や、普段から茶道をしている方にも「違う流派を体験する良い機会になった」とのお喜びの声を多数いただきました。

●主催者

文化庁 厚生労働省 和歌山県 和歌山県教育委員会
和歌山市 和歌山市教育委員会 第36回国民文化祭、
第21回全国障害者芸術・文化祭和歌山県実行委員会
第36回国民文化祭、第21回全国障害者芸術・文化祭
和歌山市実行委員会 和歌山城市民茶会実行委員会
(和歌山市・一般社団法人表千家同門会和歌山県支部・
一般社団法人茶道裏千家淡交会和歌山支部・一般社団法人和歌山市観光協会)

■分野別交流事業

きのくに短歌の祭典

開催日 令和3年11月10日(水)～11月14日(日)

会場 和歌山県民文化会館



●実施状況

いにしへの時代から現代に至るまで広く国民に親しまれ、また和歌山県においても万葉の時代から作られてきた「短歌」を全国から募集し、集まった9,298首を審査し、11月13日に表彰式を、11月10日～14日に入賞作品の展示を行いました。

11月14日は、和歌山市内の万葉集ゆかりの地である紀三井寺、和歌の浦、加太を巡りながら、吟行を行うバスツアーを行い、26名が参加しました。ツアーの最後には万葉集ゆかりの地・和歌の浦にある万葉館にて講評会を実施しました。

●プログラム

①短歌創作ワークショップ

11/13(土)10:00～12:00

○講師(敬称略)

一般の部:佐田公子

学校の部:東直子

②表彰式・講評・トークショー

11/13(土)13:00～16:00

○表彰式

全22賞・26名

○講評(五十音順・敬称略)

今井恵子、江戸雪、小黒世茂、佐田公子、島田幸典、林和清、東直子、藤原龍一郎、古谷智子、安田純生

○トークショー 私が選ぶ「ときめき・いろいろ・これから」

登壇者(五十音順・敬称略)

小黒世茂、東直子、藤原龍一郎

③吟行バスツアー

11/14(日)10:00～15:00

○同行選者(敬称略)

小黒世茂

④入賞作品展示

11/10(水)～11/14(日)

展示会場:和歌山県民文化会館特設展示室

揮毫:和歌山県立有田中央高等学校書道部、和歌山県立海南高等学校書道部、和歌山県立紀央館高等学校書道部

●表彰

文部科学大臣賞、国民文化祭実行委員会会長賞、和歌山県知事賞、和歌山県議会議長賞、和歌山県教育委員会教育長賞、和歌山市市長賞、和歌山市議会議長賞、和歌山市教育委員会教育長賞、日本歌人クラブ賞、現代歌人協会賞、和歌山県歌人クラブ賞

●主催者

文化庁 厚生労働省 和歌山県 和歌山県教育委員会 和歌山市 和歌山市教育委員会 第36回国民文化祭、第21回全国障害者芸術・文化祭和歌山県実行委員会 第36回国民文化祭、第21回全国障害者芸術・文化祭 和歌山市実行委員会 日本歌人クラブ 現代歌人協会 和歌山県歌人クラブ

■分野別交流事業

吹奏楽の祭典

開催日 令和3年11月14日（日）

会場 和歌山県民文化会館 大ホール



●実施状況

「吹奏楽の祭典」は「届けよう吹奏楽の力、紀の国から奏でるハーモニー」をサブテーマに開催し、中学校からアマチュアまで13の団体が集まりました。

紀州徳川家第16代当主・徳川頼貞のために作曲された管弦楽曲「序曲『徳川頼貞』」の吹奏楽版や、和歌山県とトルコの絆を描いた「エルトゥールル号の記憶～太陽と新月の絆～」など、和歌山にゆかりのある曲をはじめとする各団体の魅力あふれる演奏が披露されました。

今回のために高校同士、または中学校と高校が合同バンドを編成した演奏もあり、吹奏楽愛好家同士の交流が深まりました。

コロナ禍ということもあり、多くの制約が課される日々が続いている中で感染症対策を徹底し、お客様の前で演奏できる喜びを感じながらの演奏となりました。

観客の方々からは「久々に吹奏楽を聴けて楽しかったです」「皆さんの日々の練習の成果が良く出ていました」「これからも音楽とともに前を向いて生きる勇気をもらいました」など温かい声を多数いただきました。

ゲストバンドとして Osaka Shion Wind Orchestra(オオサカ・シオン・ウインド・オーケストラ)が出演し、「吹奏楽の祭典」のラストを飾りました。

●出演団体（プログラム順）

- ① 和歌山県立星林高等学校吹奏楽部(和歌山県)
- ② 和歌山市立西和中学校吹奏楽部(和歌山県)
- ③ 和歌山市立有功中学校・西脇中学校吹奏楽部
合同バンド feat.G cube(和歌山県)
- ④ 田辺市立高雄中学校吹奏楽部(和歌山県)
- ⑤ 海南市立第三中学校吹奏楽部(和歌山県)
- ⑥ 和歌山大学吹奏楽団(和歌山県)
- ⑦ 京都府立西乙訓高等学校吹奏楽部(京都府)
- ⑧ 高砂市吹奏楽団(兵庫県)
- ⑨ ショークアンサンブル(和歌山県)
- ⑩ 和歌山県立田辺中学校・高等学校吹奏楽部(和歌山県)
- ⑪ 開智中学校・高等学校音楽部吹奏楽団(和歌山県)
- ⑫ 和歌山県立桐蔭中学校・高等学校吹奏楽部・和歌山南陵高等学校吹奏楽部合同バンド(和歌山県)
- ⑬ 和歌山県立向陽中・高等学校吹奏楽部(和歌山県)

●ゲストバンド

Osaka Shion Wind Orchestra

●主催者

文化庁 厚生労働省 和歌山県 和歌山県教育委員会
和歌山市 和歌山市教育委員会 第36回国民文化祭、
第21回全国障害者芸術・文化祭和歌山県実行委員会
第36回国民文化祭、第21回全国障害者芸術・文化祭
和歌山市実行委員会 和歌山県吹奏楽連盟

■分野別交流事業

きのくに舞台芸術演劇祭

開催日 令和3年11月17日(水)～11月20日(土)

会場 和歌山城ホール 大ホール、小ホール



●実施状況

全国公募により県内外から集った劇団や個人による代表作が、4日間にわたって上演されました。

初日の「愛と奇跡の舞台」では、愛と奇跡をテーマにした5つの異なる舞台で会場を沸かせました。2日目は、大阪府から結社わだち／KN企画が、女優2名による演技とピアノ奏者1名による演奏を組み合わせた感動の舞台で観客を魅了しました。3日目は、兵庫県からさくらさくらカンパニーが、歌と演技に映像を取り入れた斬新な舞台で、子供から大人まで楽しめる舞台を披露してくれました。最終日には劇団ZEROが、代表作「名草姫」の幻想的で、美しくも切ない舞台を繰り広げました。

それぞれがとても質の高い舞台で観客に大きな感動を与えました。

今回の演劇祭を通して、多くの方々に舞台芸術の魅力を知っていただくことができ、これからの和歌山における舞台芸術の振興に繋げることができました。

●プログラム

◆「愛と奇跡の舞台」

会場:和歌山城ホール 小ホール

公演日:令和3年11月17日(水)

出演:①『きのくにに夢物語』(渚会)

②『歌あるかぎり』(MIYA)

③英語スピーチ『Picture The Future
～茶道の心を持って～』(中西健志)

④朗読劇『いのち(作 素未重)』ほか
(語人サヤ佳)

⑤『ゆっこりんとおもいやりの花を咲かせよう』(たかだゆき子&劇団ZERO)

◆「花咲く乙女の子守唄」

会場:和歌山城ホール 小ホール

公演日:令和3年11月18日(木)

出演:結社わだち／KN企画

◆「リトル・プリンス～ひこうき乗りと星の王子さま～」

会場:和歌山城ホール 小ホール

公演日:令和3年11月19日(金)

出演:さくらさくらカンパニー

◆「古代わかやまの女王伝説「名草姫」

会場:和歌山城ホール 大ホール

公演日:令和3年11月20日(土)

出演:劇団ZERO

●主催者

文化庁 厚生労働省 和歌山県 和歌山県教育委員会
和歌山市 和歌山市教育委員会 第36回国民文化祭、
第21回全国障害者芸術・文化祭和歌山県実行委員会
第36回国民文化祭、第21回全国障害者芸術・文化祭
和歌山市実行委員会 劇団ZERO

■地域文化発信事業

和歌山城 光と音の饗宴

開催日 令和3年10月30日(土)～10月31日(日)

会場 和歌山城公園内・西の丸広場等



●実施状況

和歌山城公園の西の丸広場で10月30日(土)、31日(日)の2日間にわたり「和歌山城 光と音の饗宴」を開催しました。和歌山市のシンボルである和歌山城を背景に光の演出による幻想的な空間が広がり、訪れた人々を魅了しました。

演舞ステージでは、特別出演者に和歌山市出身の津軽三味線奏者・木乃下真市氏、同じく和歌山市出身の箏曲家・西陽子氏を迎え、スペシャルステージを行いました。また、和歌山出身のフレッシュな女優&演出家によるショート朗読劇や雑賀孫一を題材としたアニメの出演声優によるトークショー、そして公募した子供からシニアまでの幅広い年代の出演者がパフォーマンスを披露し、世代を超えて皆が楽しめるステージとなりました。

2日間で延べ1万人を超える来場者が多彩な文化芸術を楽しみ、和歌山の魅力を市内外に発信する良い機会となりました。

●特別出演者

- ・木乃下真市 津軽三味線
- ・西陽子&kotonos 大家一将 箏パーカッション演奏
- ・ふわり 箏演奏
- ・アニメ「錆色のアーマ」特別トークライブ
- ・リーディングガールズ・和歌山 朗読劇
- ・Nazuki サックスソロ演奏

●公募出演者

- ・PROGRESS ジャズダンス
 - ・Links Dance School MAMI クラス ダンス
 - ・平野陽平 ハンドパン演奏
 - ・はんなり〜ず バンド演奏
 - ・マルチプライΣ ストリートダンス
 - ・ぼちぼちクローバーz ダンス
 - ・TR Steps キッズストリートダンス
 - ・グレイスフルボイス ポップコーラス
 - ・喜笑花 よさこい演舞
 - ・Bijou Dance Arts ジャズヒップホップダンス
 - ・Ya Habibi Bellydancers ベリーダンス
 - ・バリ舞踊 wakayama バリ舞踊
 - ・加藤和成 テナーサックス演奏
 - ・紀の国マンドリンオーケストラ マンドリン演奏
- (順不同・敬称略)

●主催者

文化庁 厚生労働省 和歌山県 和歌山県教育委員会
和歌山市 和歌山市教育委員会 第36回国民文化祭、
第21回全国障害者芸術・文化祭和歌山県実行委員会
第36回国民文化祭、第21回全国障害者芸術・文化祭
和歌山市実行委員会

■地域文化発信事業

有吉佐和子生誕90年

ふるさとと文学2021～有吉佐和子の和歌山

開催日 令和3年11月3日(水・祝)

会場 和歌山城ホール 大ホール



●実施状況

和歌山市出身の作家・有吉佐和子を顕彰する事業として「有吉佐和子生誕90年 ふるさとと文学2021～有吉佐和子の和歌山」を開催しました。一般社団法人日本ペンクラブの「ふるさとと文学」シリーズの第7回としても開催された今回のイベントは、有吉佐和子の紹介映像、シンポジウム、朗読劇の3部構成で実施しました。

第1部では、有吉佐和子の肖像「紀ノ川の流れゆく先へ」として映像と語り、ヴァイオリン演奏によって有吉佐和子の世界が表現されました。

第2部では、有吉佐和子を母に持つ有吉玉青氏をはじめ4人のパネラーによるシンポジウムを行いました。

第3部では、有吉佐和子の初期の戯曲作品「石の庭」を朗読劇として上演しました。

没後37年経った現在もその作品が広く読まれている有吉佐和子について、ふるさとである和歌山市の市民だけでなく、全国の方々に改めてその魅力を知ってもらおうイベントとなりました。

●企画・監修

一般社団法人 日本ペンクラブ



●プログラム

開会挨拶 尾花正啓(和歌山市長)

第1部

映像と語りと音楽で彫る～有吉佐和子の肖像「紀ノ川の流れゆく先へ」

脚本:吉岡忍 映像:四位雅文 語り:山根基世
ヴァイオリン:佐藤久成

第2部

シンポジウム「和歌山に生まれ、和歌山を愛し、和歌山も日本も超えて活躍した作家—有吉佐和子。」

パネリスト:有吉玉青(大阪芸術大学教授)、
下重暁子(作家)、中島京子(作家)、
吉岡忍(作家)

第3部

朗読劇「石の庭」

演出:杉田静生

キャスト:浜畑賢吉、荒川久美江、宮川智之、
久保田彩佳、奥洞和哉

閉会挨拶 桐野夏生(日本ペンクラブ会長)

●主催者

文化庁 厚生労働省 和歌山県 和歌山県教育委員会
和歌山市 和歌山市教育委員会 第36回国民文化祭、
第21回全国障害者芸術・文化祭和歌山県実行委員会
第36回国民文化祭、第21回全国障害者芸術・文化祭
和歌山市実行委員会

■地域文化発信事業

カダハク2021

開催日 令和3年10月30日(土)～11月21日(日)

会場 友ヶ島、加太総合交流センター、青少年国際交流センター等



●実施状況

自然や遺構などの豊かな地域資源を有する加太・友ヶ島を舞台に「カダハク2021」を10月30日(土)～11月21日(日)の23日間にわたって開催しました。

「友ヶ島アート展示」では、東京大学生産技術研究所准教授の川添善行さん(建築家)監修のもと、友ヶ島の「修験」「軍事」「生活」の3つの側面が想起されるアート作品を3名のアーティストが制作し、友ヶ島内に展示しました。文化祭期間中約4,000人に鑑賞いただきました。

「みんなでつくる加太博物館」では、加太地域の歴史や文化、漁業について加太の魅力を紹介する展示や、近隣小学生の絵画展示、加太小学校の卒業制作映画やプロモーション映像を上映し、596人の方にご来場いただきました。

「みんなでつくる加太壁画アート」では、72メートルの防波堤をキャンバスにして、アーティストと共に大きな絵を描きました。一般参加者を募っての3回のワークショップのほか、地元中学校の美術部員、地域の方にも参加いただき総勢約250人で制作しました。

ウォークイベントとしては、仮装した親子120人が参加した「加太ハロウィンウォークラリー」のほか、「加太語り部と行く加太町内案内コース・友ヶ島案内コース」を開催しました。友ヶ島案内コースは悪天候により会場を加太まちなかに変更して開催しました。

最終日の11月21日(日)は加太の海藻(ひじき・わかめ・寒天)を使った野外炊飯や、地元漁師さんによる海藻の話・加太小学生による「海藻の劇」など加太

の食文化を伝える海藻フェスが行われました。

●プログラム

1. 友ヶ島アート展示

監修:川添善行(東京大学准教授・建築家)

① 「タイトツキ」

岡崎由璃子



② 「ある場所について」

About a Place

堤有希



③ 「虚構のアーカイブ」

Fictional Archives

石田真也



2. みんなでつくる加太博物館

3. 加太ハロウィンウォークラリー／オープニング式典

4. みんなでつくる加太壁画アート

5. 加太語り部と行く加太町内案内コース／加太語り部と行く友ヶ島案内コース

6. 海藻フェス／カダハククロージング

●主催者

文化庁 厚生労働省 和歌山県 和歌山県教育委員会
和歌山市 和歌山市教育委員会 第36回国民文化祭、
第21回全国障害者芸術・文化祭和歌山県実行委員会
第36回国民文化祭、第21回全国障害者芸術・文化祭
和歌山市実行委員会 加太地域活性化協議会

■地域文化発信事業

和歌の聖地 和歌の浦魅力探訪

開催日 令和3年11月3日(水・祝)～11月8日(月)

会場 和歌の浦周辺、玉津島神社、和歌の浦アート・キューブ



●実施状況

古代から多くの和歌に詠まれ、日本遺産に登録されている和歌の浦地域で「和歌の聖地 和歌の浦魅力探訪」を11月3日(水・祝)～11月8日(月)の6日間にわたり開催し、様々な企画を行いました。

和歌の神様を祀る玉津島神社では、短歌の創作ワークショップを行い、制作された短歌が奉納されました。また、近畿大学名誉教授で紀伊万葉ネットワーク会長の村瀬憲夫先生による和歌の浦の魅力語るトークイベントや、冷泉家時雨亭文庫による、和歌に独特の節をつけて歌い上げる「和歌披講」を開催しました。

そのほか、和歌の浦の各所をめぐるフォトウォークイベント、和歌の浦の風景を撮影した写真や玉津島神社に奉納した短歌の展示を行いました。

●プログラム

11月3日(水・祝)

①聖地和歌の浦の魅力を見つけよう！フォトウォーク

講師:松原時夫(和歌の浦在住の写真家)

村瀬憲夫(近畿大学名誉教授・紀伊万葉ネットワーク会長)

②みんなで短歌づくりに挑戦しよう～和歌の神様に奉納～

講師:石田晋司(燦短歌研究会編集委員)

演奏:和歌山雅楽会

11月7日(日)

③冷泉家による和歌披講・和歌の浦と和歌についてのトークイベント

講師:村瀬憲夫(近畿大学名誉教授・紀伊万葉ネットワーク会長)

テーマ:「万葉の和歌の浦から和歌の家の伝統へ」

出演:公益財団法人冷泉家時雨亭文庫

[披講役](敬称略)

解説:冷泉貴実子

講師(こうじ):冷泉為人

読師(どくじ):大江崇之

発声(はっせい):久禮百合子

講頌(こうしょう):大谷香代子、堀井真知子

結髪(けっぱつ):笹島八千代、西村幸枝、八木昭子

11月3日(水・祝)～11月8日(月)

④和歌の浦の写真と和歌の展示～万葉ロマンを感じて～

応募写真:25点

フォトウォークイベントで撮影した写真:17点

奉納短歌:21点

●主催者

文化庁 厚生労働省 和歌山県 和歌山県教育委員会
和歌山市 和歌山市教育委員会 第36回国民文化祭、
第21回全国障害者芸術・文化祭和歌山県実行委員会
第36回国民文化祭、第21回全国障害者芸術・文化祭
和歌山市実行委員会

■地域文化発信事業

わかやま市民みんなの作品展

開催日 令和3年11月18日(木)～11月21日(日)

会場 和歌山城ホール 展示室



●実施状況

「わかやま市民みんなの作品展」は、和歌山市の文化芸術活動の活性化を図ることを目的に、和歌山市民や和歌山市に在勤、在学若しくは文化芸術活動を行っている個人及び団体の方々から広く芸術作品を公募して展示する作品展であり、11月18日(木)～11月21日(日)の4日間にかけて開催しました。

「和歌山市の自然と歴史、文化が織りなす魅力」をテーマとして作品を公募したところ、幼児や児童の方をはじめ、長く文化芸術活動を行っている方など幅広い年齢層の方々から絵画や写真、書道、彫塑・工芸、手芸など合計67作品を出展していただきました。

作品展の期間中には、市内外から1,000名を超える皆様に作品をご覧いただき、和歌山市における文化芸術活動への関心を高めることができました。

●展示内容

日程:11月18日(木)～11月21日(日)

会場:和歌山城ホール 展示室

点数:67作品(66人、1団体)

絵画 22作品

写真 33作品

書道 5作品

彫塑・工芸 3作品

手芸 4作品



●主催者

文化庁 厚生労働省 和歌山県 和歌山県教育委員会
和歌山市 和歌山市教育委員会 第36回国民文化祭、
第21回全国障害者芸術・文化祭和歌山県実行委員会
第36回国民文化祭、第21回全国障害者芸術・文化祭
和歌山市実行委員会

■地域文化発信事業

和歌山文化協会総合美術展

開催日 令和3年10月30日(土)～11月3日(水・祝)

会場 和歌山城ホール 展示室



●実施状況

「和歌山文化協会総合美術展」は、生け花や書、絵画、舞踊など多様な分野の美術を理解し、文化芸術の発展を図ることを目的として開催しており、今回で第68回目となります。今回は、紀の国わかやま文化祭2021の地域文化発信事業として10月30日(土)から11月3日(水・祝)の5日間、「静」と「動」の共演をサブテーマとし、和歌山城ホール展示室にて同協会の各分野の部員による作品展示やステージ披露を行いました。

作品展示は、日本画、洋画、写真、工芸、短歌、俳句、川柳等の美術作品と生け花を一組として59組展示しました。どの作品も完成度が高く、2つで一つの作品として展示したその調和を楽しんでいただきました。

展示室内のステージでは、洋楽と生け花、能舞と歌曲の共演など、「静」と「動」を融合した芸を披露しました。また、華道部による生け花体験のワークショップや茶道部による呈茶席のおもてなしを実施し、多様な分野の文化芸術を身近に感じていただきました。

期間中には連日多くの方にご来場いただき、文化芸術の魅力が大勢の方に伝えることができ、今後の更なる文化芸術活動の広がりに繋がる良い機会となりました。

●プログラム

作品展示

10月30日(土)～11月3日(水・祝)

ステージ

10月30日(土)

洋楽と生け花の共演・能舞と歌曲の共演・洋楽コンサート

10月31日(日)

小中学生の書道実演・能舞・書道実演と謡の共演

11月1日(月)

詩舞・謡・仕舞・生け花と能舞の共演

11月2日(火)

華道部による生け花体験・茶道部による呈茶席
(和歌山城ホール4階和室)

●主催者

文化庁 厚生労働省 和歌山県 和歌山県教育委員会
和歌山市 和歌山市教育委員会 第36回国民文化祭、
第21回全国障害者芸術・文化祭和歌山県実行委員会
第36回国民文化祭、第21回全国障害者芸術・文化祭
和歌山市実行委員会 和歌山文化協会

■地域文化発信事業

和歌山城まちなかキャンドルイルミネーション・竹燈夜

開催日 令和3年11月6日(土)～11月7日(日)

会場 和歌山城及びその周辺(モンティグレ和歌山、スマイルホテル)



●実施状況

和歌山市の秋の風物詩、和歌山城まちなかキャンドルイルミネーション・竹燈夜を11月6日(土)、7日(日)の2日間、開催しました。和歌山城を中心としたまちなかに約8,000本の竹で作製した灯籠を並べ、キャンドルに火を灯し、あたたかく幻想的な光の空間を作り出しました。

本事業では、雅楽やフラメンコなどのステージイベント、天守閣前では竹のオブジェの設置や生演奏などを実施し、ゆったりとした素敵なひとときをお楽しみいただきました。また、和歌山県いけばな協会による、いけばな野外アート展を開催し、ライトアップされた芸術的ないけばな作品が夜の二の丸庭園を彩りました。城プロジェクトによる忍者影絵は、子供たちにも楽しんでいただきました。

市民ボランティアを募集し、竹灯籠の設置・撤去作業、竹灯籠の配置については事前に案を練り、会場ごとに趣向を凝らした様々なデザインのモニュメントを作成いただきました。来場者は2日間で1万人を超え、竹燈夜の優しい灯りを通じ、皆の心があたたかくなる事業となりました。

●プログラム

①ステージイベント(西の丸広場)

11月6日(土)

雅 GAGAKU 楽 ～平調 音取 越殿楽 他～
チアダンス
木管アンサンブルミニコンサート
和太鼓

ベリーダンス

11月7日(日)

竹燈夜音楽会
フラメンコ in 竹燈夜
ピアノ弾き語り
紀州よさこい演舞

②竹あかり(和歌山城天守閣前)

11月6日(土)、7日(日)

③和歌山城いけばな野外アート展(二の丸庭園)

11月6日(土)、7日(日)

④わかやまお城ミュージック♪(和歌山城天守閣前)

11月6日(土)、7日(日)

第一部 お城クラシック♪
第二部 Saxophone NAZUKI's

⑤忍者影絵(和歌山城伏虎像南側)

11月7日(日)

●主催者

文化庁 厚生労働省 和歌山県 和歌山県教育委員会
和歌山市 和歌山市教育委員会 第36回国民文化祭、
第21回全国障害者芸術・文化祭和歌山県実行委員会
第36回国民文化祭、第21回全国障害者芸術・文化祭
和歌山市実行委員会 竹燈夜実行委員会

■地域文化発信事業

和歌山市公民館フェスティバル

開催日 令和3年11月12日(金)～11月14日(日)

会場 和歌山城ホール 展示室、小ホール



○第65回作品展：11月12日(金)～14日(日)

●実施状況

和歌山城ホール展示室に、公民館活動を通して生み出された1,532点もの作品が展示されました。

初日のテープカットが行われた後、待ちわびていた多くの方たちが一つひとつの作品に見入っていました。

開催中は、入場者が一度も途切れることがないほどの盛況ぶり、3日間で2,000人を超える来場がありました。

今回の作品展は、紀の国わかやま文化祭の期間中に開催したことで、県内そして、大阪をはじめ東京や沖縄などの遠方からも多くの方たちが来場されました。

また、来場された方たちからは、「どの作品もすばらしい」「感動しました」等の称賛のお言葉を多くいただくことができました。

●展示品

絵画・絵手紙・ちぎり絵・折り紙・写真・水墨画・パッチワーク・生け花・フラワーアレンジメント・陶芸・手芸・編物・書道・短歌・俳句・川柳など

○第25回実践発表会：11月13日(土)

●実施状況

和歌山城ホール小ホールで、公民館活動で習得した演技を披露する実践発表会が開催され、500人を超える来場がありました。

開会式典が行われた後、多くの観客が見守る中、発表会の幕が上がりました。

この発表会には、27地区の公民館から378人の方たちが参加し、多くの演目が披露されました。

どの演目からも、参加者たちがこの日のために日々練習を重ねてきたことを強く感じました。その練習の成果をいかに発揮し、大勢の観客を魅了しました。

●演目

太極拳・民踊・和太鼓・ジャズダンス・詩吟・護身術・フラダンス・コーラス・オカリナ・ダンス・着物リメイク作品ファッションショー

和歌山市公民館フェスティバルを3日間開催し、多くの方々に作品や演技を観賞していただいたことが、参加者にとってこれからの公民館活動への更なる励みとなりました。

●主催者

文化庁 厚生労働省 和歌山県 和歌山県教育委員会 和歌山市 和歌山市教育委員会 第36回国民文化祭、第21回全国障害者芸術・文化祭和歌山県実行委員会 第36回国民文化祭、第21回全国障害者芸術・文化祭和歌山市実行委員会、和歌山市公民館連絡協議会

■障害者交流事業

紀らり！まちなか美術館

開催日 令和3年10月30日（土）～11月21日（日）

会場 和歌山駅・和歌山市駅・和歌山城周辺の店舗等、わかちか広場



●実施状況

まちなかを美術館に見立て、ホテルや店舗、カフェなどの施設に障害のある方のアート作品を展示する「紀らり！まちなか美術館」を10月30日（土）～11月21日（日）までの23日間にわたって開催しました。

初日の10月30日（土）は、JR和歌山駅前のわかちか広場でオープニングイベントを開催しました。ジャンボ演奏チーム「アボロッサム」やコーラスグループ「ピュアハート」によるステージイベント、新聞紙彫刻、書道アート、折り染めなどの参加型ワークショップを行いました。

作品展示では、「和歌山市駅」「和歌山城」「和歌山駅」の3つのエリアにある23施設にご協力いただき、障害のある方のアート作品を楽しんでいただける展示スポットを設けました。今回の取組では、和歌山市内に居住、通勤・通学されている障害のある方から作品を公募し、56名（グループを含む）から82作品の応募がありました。82作品は「心和むもの、強いメッセージを感じさせるもの、繊細なもの、楽しさにあふれるもの」など、それぞれの魅力があり、鑑賞者からは、「優しいタッチの絵にホッとしました」、「繊細で壮大な絵に感動しました」、「自由な発想に楽しませてもらいました」などたくさんの感想が寄せられました。また、展示スポット協力先の各施設からも「来場者から喜ばれた」「障害者の方もたくさん来られて楽しそうに過ごされていた」などの評価をいただきました。23日間の展示では、約4万人の方に鑑賞いただきました。

まちなかに展示される障害者アートをとおして、ひとり一人に多様な生きる喜びがあることを、多くの人たちと共感できる取組になりました。

●作品展示

期間：10月30日（土）～11月21日（日）

会場：和歌山駅、和歌山市駅、和歌山城周辺の店舗やホテル、銀行などの施設等（23施設30か所）

内容：絵画 69点
写真 9点
書道 3点
織物 1点



●オープニングイベント

日時：10月30日（土）10:00～15:00

会場：JR和歌山駅西口地下広場（わかちか広場）

内容：ステージパフォーマンス
参加型ワークショップ

●主催者

文化庁 厚生労働省 和歌山県 和歌山県教育委員会
和歌山市 和歌山市教育委員会 第36回国民文化祭、
第21回全国障害者芸術・文化祭和歌山県実行委員会
第36回国民文化祭、第21回全国障害者芸術・文化祭
和歌山市実行委員会 紀らり！まちなか美術館実行委員会

■障害者交流事業

バリアフリー映画祭

開催日 令和3年11月6日(土)、11月7日(日)

会場 ジストシネマ和歌山



●実施状況

障害のある方々が映画館で安心して映画鑑賞を楽しんでいただけるように、様々な障害特性に配慮した「バリアフリー映画祭」を11月6日(土)、7日(日)の2日間で開催しました。

会場は、映画館の1スクリーンを貸し切り、手話通訳や要約筆記をはじめ、字幕表示や音声ガイドをスピーカーで流すなど視覚や聴覚に障害がある方々が楽しめるだけでなく、誰もが楽しめるよう車いす席を増席しました。また、場内の照明を明るめに、音量を小さめに設定し、看護師を会場内に配置するなどのサポートを行いました。

初日は、スペシャルゲストとして全盲のドラマー・酒井響希さんによるステージイベントを開催し、母親の酒井康子さんによる講演の後、障害を感じさせない迫力のあるドラム演奏を届けていただきました。

上映作品は、大人から子供まで楽しんでいただけるように、2020年秋以降公開の人気作品3作品を準備したところ、2日間で約200名の方に来場いただきました。映画館での鑑賞が初めての方も多く、「娘と初めて一緒に見る機会ができ嬉しかった。」「安心して参加できました。」等の感想が寄せられました。

今回の映画祭では、映画館での映画鑑賞を楽しんでいただくだけでなく、バリアフリー映画をたくさんの方に知っていただける機会となり、障害のある方への理解を深めることができました。

●プログラム

会場:ジストシネマ和歌山

11月6日(土) 13:30~、14:30~

ステージイベント:

酒井康子(講演)、酒井響希(ドラム)

かねこ(ギター)、まゆ(ボーカル)

映画上映:「STAND BY ME ドラえもん2」

11月7日(土) 10:00~、12:30~

映画上映:「えんとつ町のプペル」

「花束みたいな恋をした」

●鑑賞サポート

- ①車いす席増席
- ②手話通訳・要約筆記の配置
- ③音声ガイド・日本語字幕付きガイド
- ④場内明るさ(明)、音量(小さめ)
- ⑤看護師の配置

●主催者

文化庁 厚生労働省 和歌山県 和歌山県教育委員会
和歌山市 和歌山市教育委員会 第36回国民文化祭、
第21回全国障害者芸術・文化祭和歌山県実行委員会
第36回国民文化祭、第21回全国障害者芸術・文化祭
和歌山市実行委員会

■特別連携事業

特別展「加太淡嶋神社展－女性・漁民の祈り－」

開催日 令和3年10月9日（土）～12月12日（日）

会場 和歌山市立博物館



●実施状況

和歌山市北西部の加太に鎮座する淡嶋神社は、関東・中国・四国・九州地方を中心に日本全国で500ほど存在するアワシマ社の総本社です。薬の神様とされる少彦名命（すくなひこなのみこと）を祭神とし、婦人病や安産・子授け祈願など「女性のための神様」として昔から信仰されています。そのこともあり、病気の回復や安産などを祈る女性の参拝者が多く、特に3月3日の雛流しは遠方からも多くの人々が訪れ、春の風物詩となっています。

特別展では、重要文化財の大円山形星兜（だいえんざんなりほしかぶと）や金銅造丸鞘太刀（こんどうづくりまるさやたち）、淡嶋社縁起、神楽太鼓など古くから大切にされてきた神社の宝物、絵画など江戸時代の美術品、室町時代に友ヶ島沖で沈没した貿易船が積んでいた中国製青磁など海揚がりの陶磁器（全167点を初公開）などを展示し、和歌山が全国に誇る淡嶋神社の魅力を紹介しました。展示物だけでは難しさや堅苦しさを感じることもありますので、展示物の付近にミニチュアの人形を飾ったり、展示物に子供向けの説明文を置いたりし、楽しく観覧できるように工夫しました。

また、特別展の期間中には展示の内容についてより理解を深めていただくため、淡嶋神社の歴史に関する講演会や近年注目されつつある水中考古学の世界を海揚がりの陶磁器や近年の水中調査結果を通して紹介する講演会を開催しました。

入館者からは、「淡嶋神社のことが色々と知れて良かった。」「海揚がりの陶磁器というのは、初めて聞

いた。研究が進むことを期待する。」「展示数が多く、圧巻だった。」などの意見があり、概ね好評でした。

●主な展示物

- 淡嶋社縁起 宝鏡寺宮理豊筆
- 重要文化財 大円山形星兜
- 重要文化財 金銅造丸鞘太刀
- 桑山重晴田地寄進状ほか淡嶋古文書
- 海揚がりの陶磁器

●関連行事

講演会

○10月30日（土）

「淡嶋神社の歴史－江戸時代を中心に－」

○12月4日（土）

「海揚がりの陶磁器は語る」

「沖ノ島北方海底遺跡調査と沈没船遺跡」

●主催者

和歌山市立博物館

■特別連携事業

和歌山城天守閣・わかやま歴史館 秋の共同企画展 「和歌山城天守閣を建てた人たち」

開催日 令和3年10月14日（木）～11月22日（月）

会場 和歌山城天守閣 多門展示コーナー、わかやま歴史館 2階 歴史展示室



●実施状況

県内外の方に改めて和歌山城について知っていただく機会となるよう、これまであまり取り上げられることのなかった和歌山城天守閣の再建に携わった人たちにスポットをあて、和歌山城の歴史をご紹介します。和歌山城天守閣を第1会場、わかやま歴史館を第2会場とし、城内を広くめぐっていただけるよう意識しました。

会期中に和歌山城天守閣とわかやま歴史館の両方の展示をご覧いただいた方には、紀の国わかやま文化祭2021限定デザインの御城印をデータで配布しました。また、11月20日（土）、21日（日）の2日間にわたり和歌山城天守閣内の埋門を特別公開し、多くの方にご覧いただきました。企画展に付随したイベントでも和歌山城にふれていただき、楽しんでいただけました。

●展示内容

第1会場の和歌山城天守閣では、下記の章立てで主に昭和時代の再建工事についてとりあげました。

1. 和歌山城天守閣
2. 再建に携わった人物
3. 和歌山城天守閣の再建工事がはじまる
4. 一般公開

再建工事の様子が見える古写真と当時の日誌をもとに再建の経過をたどり、寄附金の芳名録や設計図などを通じて、多くの方が関わった大事業であったことをご紹介します。

第2会場のわかやま歴史館では、下記の章立てで主に江戸時代の再建工事についてとりあげました。

1. 江戸時代に和歌山城天守閣を再建した人たち
2. 江戸時代の和歌山城天守閣を考証した人たち

空襲で焼失する前の天守閣内部の写真や江戸時代の再建の記録、江戸時代の天守閣を考証した松田茂樹氏や藤岡通夫氏らの史料を通じて、その仕事ぶりをご紹介します。

●主催者

和歌山市 公益財団法人和歌山市文化スポーツ振興財団

※新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった事業

■特別連携事業

「スポーツ文化ツーリズムアワード2020 日本遺産ツーリズム賞」受賞 第20回和歌山ジャズマラソン

開催日 令和3年11月14日（日）

会場 和歌山城公園前、和歌山マリーナシティ

●事業内容

「ジャズ」と「マラソン」を融合させた全国でも珍しいマラソン大会です。沿道にはジャズライブステーションを設置しており、生演奏を聴きながらマラソンを楽しむことができます。

●主催者

和歌山市 和歌山市教育委員会 和歌山ジャズマラソン実行委員会



○感染症対策について

国や県、業種別等のガイドラインに基づき、新型コロナウイルス感染症対策を行いながら各事業を実施しました。

【主な感染症対策】

- ・参加者（観客、出演者、スタッフ）のマスク着用、手指消毒、こまめな手洗い
出演者・スタッフは必要に応じてマウスシールドやフェイスシールド、手袋を着用。
会場入口や楽屋に消毒液を設置。
- ・参加者の検温等の健康チェック
非接触型検温計やサーマルカメラで参加者の検温を実施。
- ・大声禁止や密集回避の注意喚起
- ・入場制限（座席を1席ずつ空けるなど）
- ・休憩時の会場や楽屋の換気
- ・共用部分の消毒（座席、取っ手、手すり等）
- ・楽屋の分散
- ・飲食の制限
- ・参加者の把握（連絡先の取得）
- ・出演者への差し入れや楽屋訪問の制限



■おもてなし

○運営ボランティア

運営補助ボランティアと協力し、来和される方々を一緒に温かく迎えた。

※ボランティア数延べ527人。うち市実行委員会が募集したボランティア112人



○おもてなし大清掃

開催日:令和3年10月3日(日)

場 所:和歌山城と和歌山城ホール周辺

市内の企業・団体29団体、約500人に参加していただき、美しい和歌山市で出演者をお迎えするため実施。



○花苗の植え替え

開催日:令和3年10月16日(土)

場 所:和歌山城吹上

花いっぱい推進協議会と市内の大学生合計30人に参加していただき、花苗の植え替えイベントを実施。花プランターは、開催会場に設置した。



○おみやげ・授産品販売ブース

おもてなし売店として、県民文化会館・和歌山城ホール・和歌山県立体育館に売店ブースを設置。出演者や観覧者等に和歌山市のおみやげや、市内の作業所で作られた授産品の販売を行った。

■おみやげ販売

実施団体:和歌山市観光協会

■授産品販売

実施団体:はぐるま共同作業所、芳春会、わかやまショコラ とことわ、なのはな、くろしお作業所、まほろば、あいショップ、ドリームサポート、和くわく作業所



○和歌山市公式ガイドブック

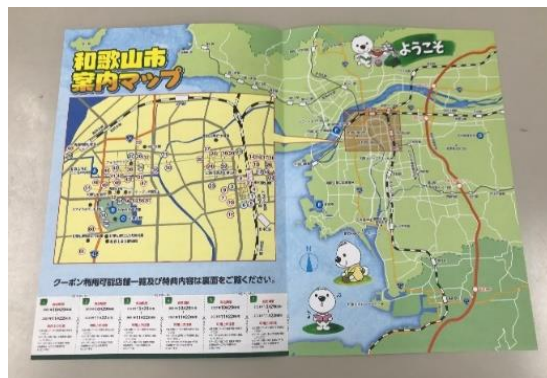
制作部数:8000部

市内での開催事業を掲載し、市の関連施設や啓発活動にて配布。



○出演者特典チラシ

和歌山市を訪れた出演者等に対し、市の文化施設の入場料免除や飲食店などで割引を受けることができる特典チラシを配付した。



■広報活動

○PRピアノ（愛称：きいちゃんピアノ）

設置期間：令和3年7月22日（木・祝）～11月30日（火）

設置場所：イオンモール和歌山1階サークルコート

市民会館にあったアップライトピアノにきいちゃんのイラストをラッピングし、PRピアノとしてイオンモール和歌山のご協力もと設置した。

また、PRピアノ利用者によるYouTube等の配信を通じて全国への広報につながった。

※12月1日以降もストリートピアノとして継続して設置



○カウントダウンイベント

■開催100日前兼「きいちゃんピアノ」お披露目イベント

開催日：令和3年7月22日（木・祝）

市長、議長、イオンモール和歌山ゼネラルマネージャーなどが出席し、除幕式を実施。

地元の小学生2名や和歌山市交響楽団が演奏を披露した。




※令和3年8月21日（土）に開催予定だった開催70日前カウントダウンイベントは、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、中止した。

○市庁舎・市施設での広報


- ・市庁舎、市施設、市立小中高等学校、幼稚園にポスター掲出
- ・庁舎1階エレベーター壁面のモニターにてPR動画放映
- ・庁舎1階市民ギャラリー前のテレビでPR映像を放映
- ・庁舎1階正面玄関設置のタッチパネルにポスター画像を掲出
- ・庁舎1階エレベーター前にカウントダウンボードを設置
- ・わかちか広場入口のLEDサイネージにて放映
- ・わかちか広場のモニターにてPR動画を放映
- ・市民図書館デジタルサイネージにて放映



 **和歌山市役所からのお知らせ**

**国内最大の文化の祭典
「紀の国わかやま文化祭2021」が初開催**

10月30日～11月21日まで、文化の祭典が和歌山県内全域で開催されます。文化で和歌山を盛り上げましょう。



お問い合わせは 文化振興課 まで



○シティドレッシング

■のぼり旗・歓迎のぼり旗・花プランター

歓迎のぼり旗は、市内の小学校及び特別支援学校の児童がデザインし、市内各地に設置。

花プランターは、市内の小・中・高等学校及び特別支援学校の児童・生徒等に育てていただいたもので、市内各地に設置。



■横断幕

市庁舎、市民図書館2階、わかちか広場入口、JR和歌山駅東口に横断幕設置。



■PRシート

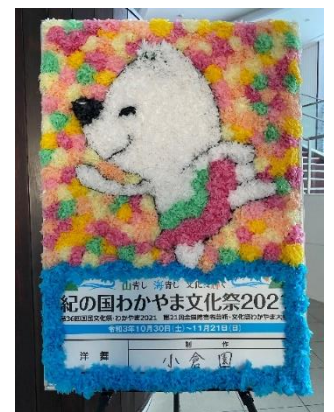
和歌山城ホールの建設現場の仮囲いにPRシートを設置。

両サイドの絵は市立和歌山高校(右)、県立和歌山ろう学校(左)の生徒の作品。



■きいちゃんパネル

市民の皆さんに折り紙や花紙で作成していただいたきいちゃんのモザイクアートパネルを開催会場に設置。



○啓発グッズ

文化祭事業周知を目的に啓発活動の折に配布。

- ・クリアファイル 4,000 部
- ・ふせん 2,000 部
- ・ウエットティッシュ 5,000 個
- ・長形3号封筒 1,000 枚
- ・角形2号封筒 1,000 枚



○ポロシャツ

文化祭の公式キャラクター・きいちゃんの刺繍が入った啓発ポロシャツを市職員向けに斡旋販売した。



○啓発活動

開催2年前から様々なイベントに参加し、啓発活動を行った。

●令和元年度

- 11月 9日・10日 竹燈夜
- 11月23日 食祭

●令和2年度

- 7月 3日 文化振興課出前講座 (新南小学校)
- 7月19日 市民図書館・キーノ和歌山
- 7月31日 文化振興課出前講座 (西脇小学校)
- 8月16日 キッズ消防チャレンジDAY!
- 8月29日 フォルテワジマ ピアノコンサート
- 9月12日 フォルテワジマ 健康教室
- 9月 9日 こども科学館 化学教室
- 9月23日 市民ギャラリーPR展
- 10月24日 旧中筋家住宅 歴史的建造物映像上映会
- 10月31日 開催1年前イベント スポGOMI
- 11月 3日 和歌浦漁港朝市しらすまつり
- 11月10日 市民ギャラリーパネル展
- 11月21日 北コミュニティセンター 健康まつり
- 11月29日 旧中筋家住宅 三味線コンサート
- 3月13日 フルーツベジタブルフェスティバル
- 3月19日 「花苗の無償提供覚書」締結式
- 3月22日 開催222日前街頭啓発(和歌山市駅)
- 3月27日 西庄ふれあいの郷リニューアルイベント

●令和3年度

- 4月10日 四季の郷クラフトフェア in たけのご祭
- 4月13日 開催200日前街頭啓発 (JR和歌山駅前西口広場)
- 5月15日 和歌浦漁港朝市
- 6月 5日 和歌山小さなこどもの歌声倶楽部
- 6月 5日 辻本好美尺八コンサート
- 6月18日 地域安全課出前講座 (あいあいセンター)
- 6月23日 和歌山市美術展覧会オープニングセレモニー
- 6月27日 地域安全課出前講座 (杭ノ瀬児童・地区福祉センター)
- 7月 4日 名勝和歌の浦クリーンアップ運動
- 7月 6日 文化振興課出前講座 (有功東小学校)
- 7月 7日 文化振興課出前講座 (木本小学校)
- 7月11日 市民文化まつり 新舞踊のつどい
- 7月11日 市民文化まつり 日本民謡のつどい
- 7月25日 市民文化まつり バレエ・モダンダンスのつどい
- 9月26日 市民ギャラリーパネル展
- 10月24日 旧中筋家住宅 三味線コンサート
- 11月 3日 紀州おどり「ぶんだら節」



■掲載記録

○新聞

リビング和歌山 令和3年9月4日号、9月18日号 記事掲載

○ラジオ（和歌山放送ラジオ「ゲンキ和歌山市」のコーナー「もっと知りたい！紀の国わかやま文化祭2021」）

令和2年度 10/1、10/7、11/2、11/9、12/7、12/21、1/4、1/13、2/16、3/2、3/11

令和3年度 4/1、4/12、5/20、5/27、6/10、6/17、6/29、7/13、7/22、8/12、8/16、9/27、9/30、10/20

○テレビ（テレビ和歌山「わがまち和歌山」）

令和2年度 10/15(10/22 再放送)

令和3年度 8/5(8/12 再放送)、9/16(9/23 再放送)、10/21(10/28 再放送)

○市報わかやま（連載「もっと知りたい！紀の国わかやま文化祭2021」）

令和2年10月号～令和3年10月号

○HP

令和元年11月、市のHPに国民文化祭のページを開設(ID:1025819)。

ページ内で和歌山市を拠点とする文化芸術団体の活動や文化芸術作品の紹介を行った。

○SNS

令和2年8月、市事務局ツイッターを開始。

投稿数:278、いいね数(延べ):4062件(令和4年1月現在)

その他随時、市の公式LINE、Facebook、ツイッターを活用。

○その他

令和2年度 黒潮新聞、政経ジャーナル、『世界年鑑2021』に広告掲載

令和3年度 8月～10月 テレビ和歌山 テレビスポット 9回 和歌山放送 ラジオスポット 3回
10月28日 FM大阪ラジオ「マルシェクレー」に電話出演しPR

■資料編

○事業別参加者数

事業名	観客	スタッフ	ボランティア	出演者	合計
太鼓の祭典	1,500	59	93	305	1,957
わかやま洋舞フェスティバル	828	88	20	171	1,107
合唱の祭典	234	10	29	726	999
小倉百人一首競技かるた全国大会	0	77	54	346	477
オーケストラの祭典	439	2	10	207	658
わかやま・いけばな芸術展	8,000	60	0	-	8,060
和歌山城茶会	1,196	60	0	-	1,256
きのくに短歌の祭典	150	10	65	10	235
吹奏楽の祭典	946	58	0	496	1,500
きのくに舞台芸術演劇祭	1,138	3	20	109	1,270
和歌山城 光と音の饗宴	12,300	75	0	189	12,564
有吉佐和子の和歌山	450	40	0	32	522
カダハク2021	5,886	100	26	37	6,049
和歌の聖地 和歌の浦魅力探訪	211	27	14	20	272
わかやま市民みんなの作品展	1,180	16	8	-	1,204
和歌山文化協会総合美術展	2,300	45	0	48	2,393
和歌山市公民館フェスティバル	2,801	239	0	405	3,445
竹燈夜	13,800	40	165	105	14,110
紀らり！まちなか美術館	40,510	15	8	36	40,569
バリアフリー映画祭	174	26	15	5	220
合計	94,043	1,050	527	3,247	98,867

○事業別出演団体数・出演者数

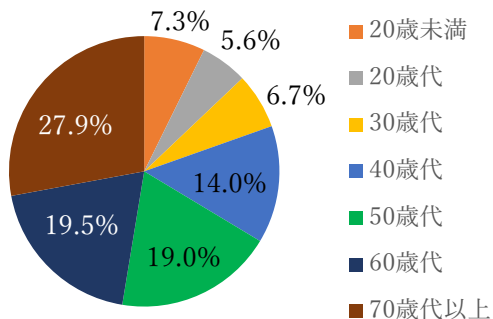
事業名	出演団体			出演者		
	県内	県外	合計	県内	県外	合計
太鼓の祭典	6	15	21	92	213	305
わかやま洋舞フェスティバル	8	5	13	115	56	171
合唱の祭典	21	16	37	374	352	726
小倉百人一首競技かるた全国大会	1	43	44	6	340	346
オーケストラの祭典	4	26	30	127	80	207
きのくに短歌の祭典	0	0	0	0	10	10
吹奏楽の祭典	11	2	13	432	64	496
きのくに舞台芸術演劇祭	5	3	8	90	19	109
和歌山城 光と音の饗宴	15	5	20	169	20	189
有吉佐和子の和歌山	0	1	1	0	32	32
カダハク2021	0	0	0	34	3	37
和歌の聖地 和歌の浦魅力探訪	1	1	2	10	10	20
和歌山文化協会総合美術展	0	0	0	48	0	48
和歌山市公民館フェスティバル	27	0	27	405	0	405
竹燈夜	14	0	14	105	0	105
紀らり！まちなか美術館	0	0	0	36	0	36
バリアフリー映画祭	0	0	0	0	5	5
合計	113	117	230	2,043	1,204	3,247

○事業別出品・出展数等 ※（ ）内は出品・出展者数

事業名(部門)		出品・出展数	内訳	
			県内	県外
きのくに短歌の祭典	一般の部	981(332)	600(205)	381(127)
	学校の部	8,317(4,423)	7,428(3,943)	889(480)
	計	9,298(4,755)	8,028(4,148)	1,270(607)
わかやま・いけばな芸術展 ～きのくに花回廊～	近鉄百貨店	130(249)	130(249)	0(0)
	和歌山城ホール	11(11)	1(1)	10(10)
	計	141(260)	131(250)	10(10)
和歌の聖地 和歌の浦魅力探訪	フォトウォーク	17(17)	17(17)	0(0)
	写真展示	25(25)	25(25)	0(0)
	短歌奉納	21(21)	21(21)	0(0)
	計	63(63)	63(63)	0(0)
和歌山城まちなかキャンドル イルミネーション・竹燈夜	竹あかり	1(1)	1(1)	0(0)
	いけばな野外アート展	30(100)	30(100)	0(0)
	計	31(101)	31(101)	0(0)
和歌山市公民館フェスティバル	第65回作品展	1,532(1,233)	1,532(1,233)	0(0)
	計	1,532(1,233)	1,532(1,233)	0(0)
和歌山文化協会総合美術展	絵画等	59(59)	57(57)	2(2)
	生け花	59(59)	59(59)	0(0)
	計	118(118)	116(116)	2(2)
わかやま市民 みんなの作品展	絵画等	22(22)	22(22)	0(0)
	写真	33(33)	33(33)	0(0)
	書道	5(5)	5(5)	0(0)
	彫塑・工芸	3(3)	3(3)	0(0)
	手芸	4(4)	4(4)	0(0)
	計	67(67)	67(67)	0(0)
紀らり! まちなか美術館	絵画の部	69(47)	69(47)	0(0)
	写真の部	9(7)	9(7)	0(0)
	書道の部	3(2)	3(2)	0(0)
	織物の部	1(1)	1(1)	0(0)
	計	82(57)	82(57)	0(0)
8事業合計		11,332(6,654)	10,050(6,035)	1,282(619)

○アンケート結果 (回答：3,510件)

問1 (1) 年齢



(2) お住まい

和歌山県内	和歌山県外
88.5%	11.5%

(3) 宿泊の有無

宿泊あり	宿泊なし
4.9%	95.1%

(4) 来場した(する予定の) イベント数

1回	2~3回	4回以上
26.0%	20.1%	4.9%

問2 今回のイベントを何でお知りになりましたか？【複数回答可】

知人・友人から	39.9%
チラシパンフレット	29.5%
県・市町村広報誌	16.2%
ポスター	9.9%
公式ホームページ	8.0%
新聞	5.9%
SNS	4.6%
テレビ番組	1.5%

屋外広告看板	1.3%
テレビCM	1.2%
PRイベント	1.0%
雑誌	0.8%
ラジオ	0.5%
ケーブルテレビ	0.3%
その他	14.4%

問3 本日のイベントはどうでしたか。感想を教えてください【複数回答可 3つまで】

文化芸術に親しみ、楽しむ機会になった	75.2%
出演者の演技や出品者の作品に感銘を受けた	37.9%
地域の文化や、伝統芸能等について知ることができた(再認識した)	23.9%
和歌山の観光や地域体験を楽しむきっかけになった	16.4%
自分も今後、文化芸術活動に取り組んでみたいと思った	14.9%
再び開催地を訪れてみたいと感じた	8.0%
障害者芸術を通じ障害者への配慮、社会参加について知ることができた	7.3%
あまり評価できない。	0.7%
その他	2.6%

問4 障害のある人もない人も、様々な人が文化芸術への参加のしやすくする（アクセシビリティの向上）ために必要なことと思うものを教えてください。【複数回答可 3つまで】

車椅子対応、補助犬受入れ体制、ピクトグラム（絵文字）など物理的な配慮	49.7%
手話、点字、音声コード、要約筆記、音声ガイド、字幕など情報保障・鑑賞支援	38.9%
障害者用エレベーター、トイレ、スロープなどハード面での施設整備	33.4%
スタッフ、ボランティア等への研修などソフト面での受入配慮の促進	25.3%
障害のある人もない人もともに楽しめる文化イベントの開催	18.9%
音楽を光や振動で伝える機器など先進技術の導入	18.0%
ボランティアなど支援する人の配置	12.3%
交通機関、芸術イベントなどの割引、無償化など財政支援	8.5%
指導者や練習活動場所など芸術活動への支援	7.7%
障害がある人とない人との対話イベントなど心理的バリアを解く取り組み	6.6%
その他	1.0%

問5 地域の文化（または和歌山の文化）の向上発展に必要なことと思うものを教えてください。【複数回答可 3つまで】

子供たちが文化に触れる機会の増加	61.9%
文化活動発表の機会の増加	34.3%
文化財や伝統芸能の保存や活動	33.1%
障害のある人もない人もともに楽しめる文化イベントの開催	27.1%
全国的な文化イベントの開催	20.7%
文化施設の整備	18.6%
他地域との文化の交流	16.3%
その他	1.5%

問6 あなたはどうすれば文化芸術に関わる活動にもっと参加しやすくなると思いますか。【複数回答可 3つまで】

魅力ある内容の活動が行われる	46.4%
住んでいる地域やその近くで活動に参加することができる	39.3%
情報が入手しやすくなる	27.9%
初心者向けの活動が提供される	27.3%
活動に参加するための費用の負担が軽くなる	20.8%
一緒に活動する仲間ができる	15.2%
参加する機会や活動の成果を発表する機会が多く提供されるようになる	14.3%
活動のための時間がとれるようになる	13.8%
土日祝日や夜間などに活動が行われる	12.6%
その他	0.5%

■準備経過

年	月	日	できごと
2017	1		第36回国民文化祭 和歌山県開催が内定
	3		第21回全国障害者芸術・文化祭 和歌山県開催が内定
2018	4	1	和歌山市文化振興課に国民文化祭推進班を新設
	10	5	和歌山県実行委員会設立 設立総会開催
2019	8	1	和歌山県から分野別交流事業内定通知
	8	8	国民文化祭実行委員会で和歌山県の基本構想承認
	8	26	和歌山市実行委員会設立 設立総会・第1回総会開催
	8	26	和歌山市実行委員会会則制定
	8	26	和歌山市文化振興課内に市実行委員会事務局を設置
	12	13	和歌山県から地域文化発信事業採択通知
2020	6	2	和歌山市実行委員会主催事業交付金交付要綱制定
	6	11	和歌山市実行委員会第2回総会（書面開催）
	8	24	文化庁で和歌山県の実施計画承認
	9	8	広報・おもてなし会議開催
	9	24	和歌山市役所市民ギャラリーでPR展示（～10月2日）
	10	12	和歌山市役所本庁舎1階にカウントダウンボード設置
	10	31	スポGOMI大会 in 和歌山市開催（開催365日前イベント）
	11	10	和歌山市役所市民ギャラリーでPR展示（～11月18日）
	12	1	分野別交流事業の開催要項公開
2021	2	1	地域文化発信事業・障害者交流事業の開催要項公開
	3	1	和歌山市運営ボランティア募集（～8月31日）
	3	22	南海和歌山市駅前で開催222日前街頭啓発
	4	13	JR和歌山駅前で開催200日前街頭啓発
	5	31	和歌山市実行委員会第3回総会（書面開催）
	7	22	イオンモール和歌山で開催100日前イベント（PRピアノお披露目式）
	7	22	イオンモール和歌山にPRピアノ設置
	8	1	和歌山市公式ガイドブック発行
	9	17	和歌山市役所市民ギャラリーでPR展示（～9月29日）
	10	3	和歌山城と和歌山城ホール周辺でおもてなし大清掃
	10	16	和歌山城吹上口で「花いっぱいでおもてなし」（花苗の植え替えイベント）
	10	30	紀の国わかやま文化祭2021開催（～11月21日）
2022	2		和歌山市実行委員会第4回総会（解散総会）（書面開催）

第36回国民文化祭、第21回全国障害者芸術・文化祭和歌山市実行委員会会則

第1章 総則

(名称)

第1条 本会は、第36回国民文化祭、第21回全国障害者芸術・文化祭和歌山市実行委員会(以下「実行委員会」という。)と称する。

(目的)

第2条 実行委員会は、第36回国民文化祭・わかやま2021(以下「国民文化祭」という。)、第21回全国障害者芸術・文化祭わかやま大会(以下「全国障害者芸術・文化祭」という。)の開催に当たり、第36回国民文化祭、第21回全国障害者芸術・文化祭和歌山県実行委員会と連携し、主催事業等の開催準備、運営、実施等に必要の事業を行うことを目的とする。

第2章 組織

(組織)

第3条 実行委員会は、会長、委員及び監事をもって構成し、委員及び監事は、次に掲げる者のうちから会長が委嘱する。

(1)市議会議員

(2)関係機関及び団体の役職員

(3)学識経験を有する者

(4)市職員

(5)その他会長が特に必要と認める者

(役員)

第4条 実行委員会に次の役員を置く。

(1)会長 1人

(2)副会長 若干名

(3)監事 2人

2 会長は、和歌山市長(以下、「市長」という。)をもって充てる。

3 副会長は、委員のうちから会長が委嘱する。

4 監事は、委員を兼ねることはできない。

(役員の職務)

第5条 会長は、実行委員会を代表し、会務を総理する。

2 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき又は不在のときは、会長があらかじめ指名した副会長がその職務を代理する。

3 監事は、実行委員会の会計その他の事務を監査する。

(任期)

第6条 委員及び役員(以下「委員等」という。)の任期は、委嘱された日から第16条の規定に基づき実行委員会が解散する日までとする。ただし、委員等が就任時におけるそれぞれの所属機関又は所属団体の役職を離れたときは、その後任者が前任者の残任期間を務めるものとする。

2 会長は、委員等に特別な事情が生じたときは、その職を解くことができる。

3 会長は、前2項の規定により委員等の変更があった場合は、次の総会において報告する。

(報酬)

第7条 委員等は無報酬とする。

第3章 会議

(会議)

第8条 実行委員会の会議として総会を置く。

(総会)

第9条 総会は、会長、委員及び監事をもって構成する。

2 総会は、必要に応じて会長が招集する。

3 総会の議長は、会長又は会長が指名した者がこれに当たる。

4 総会は、次の事項について審議し、議決する。

(1)主催事業等の準備、運営及び実施等の基本となる計画に関する事項

(2)会則の制定及び改廃に関する事項

(3)予算及び決算に関する事項

(4)前各号に掲げるもののほか、国民文化祭及び全国障害者芸術・文化祭の開催に関して会長が必要と認める事項

5 総会は、委員の過半数の出席がなければ開催し、議決することができない。ただし、総会に出席できない委員は、あらかじめ通知された事項について、代理人にその権限を委任し、又は書面により議決に加わることができる。

6 総会の議事は、出席委員(代理人にその権限を委任し、又は書面で議決に加わった者を含む。)の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

7 会長が必要と認める場合は、事前に送付した議案について書面をもって表決し、総会の議決に代えることができる。

8 会長は、必要に応じて委員以外の者に総会への出席を求めることができる。

(部会)

第10条 会長が必要と認めるときは、実行委員会に部会を置くことができる。

2 部会は、実行委員会の委員及び委員以外の者から、会長が委嘱する者をもって組織する。

3 部会は、会長が必要と認める事項について協議し、又は決定し、その結果について総会に報告する。

4 部会の組織及び運営に関し必要な事項は、

会長が別に定める。

第4章 会長の専決処分

(会長の専決処分)

第11条 会長は、総会を招集するいとまがないと認めるとき又は総会の権限に属する事項で軽易なものについては、その議決すべき事項について専決処分することができる。

2 会長は、前項の規定により専決処分したときは、これを次の総会において報告しなければならない。ただし、軽易なものについては、この限りでない。

第5章 事務局

(事務局)

第12条 実行委員会の事務を処理するため、事務局を置く。

2 事務局に関し必要な事項は、会長が別に定める。

第6章 会計

(会計)

第13条 実行委員会の経費は、交付金その他の収入をもって充てる。

(監査)

第14条 監事は、実行委員会の決算について監査し、総会に報告しなければならない。(会計年度)

第15条 実行委員会の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

第7章 解散

(解散)

第16条 実行委員会は、その目的が達成されたときに解散する。

(残余財産の帰属)

第17条 実行委員会が解散した場合において、その残余財産は、和歌山市に帰属するものとする。

第8章 補則

(補則)

第18条 この会則に定めるもののほか、実行委員会の運営に関し必要な事項は、会長が別に定める。

附 則

(施行期日)

1 この会則は、令和元年8月26日から施行する。

(経過措置)

2 実行委員会の設立当初の会計年度は、第15条の規定にかかわらず、この会則の施行の日から令和2年3月31日までとする。

3 第9条2項の規定に関わらず、最初の総会の招集は市長が行う。

第36回国民文化祭、第21回全国障害者芸術・文化祭和歌山市実行委員会委員名簿

(令和3年10月30日現在)

No.	役職	区分	機関・団体名	職名	氏名	
1	会長	主催者	和歌山市	市長	尾花 正啓	
2	副会長	市行政	和歌山市	副市長	信夫 秀紀	
3	副会長	(3)	和歌山市	副市長	富松 淳	
4	副会長		和歌山市教育委員会	教育長	阿形 博司	
5	副会長		市議会	和歌山市議会	議長	吉本 昌純
6	委員	(3)	経済文教委員会	委員長	堀 良子	
7	委員		厚生委員会	委員長	山野 麻衣子	
8	委員		文化団体関係	和歌山文化協会	会長	森本 光子
9	委員	(13)	市民文化まつり実行委員会	会長	上田 隆一	
10	委員		和歌山県かるた協会	会長	中筋 規江	
11	委員		和歌山県いけばな協会	会長	岡田 芳和	
12	委員		和歌山県吹奏楽連盟	事務局長	清水 雄介	
13	委員		和歌山県合唱連盟	理事長	沼丸 晴彦	
14	委員		和歌山市交響楽団	運営委員長	小川 雅之	
15	委員		和歌山県太鼓連盟	会長	宇治田 良一	
16	委員		(一社)表千家同門会 和歌山県支部	支部長	島 正博	
17	委員		(一社)茶道裏千家淡交会 和歌山支部	支部長	櫻畑 直尚	
18	委員		和歌山県歌人クラブ	会長	岸田 正幸	
19	委員		劇団ZERO	代表	島田 忠訓	
20	委員		和歌山洋舞協会	代表	小前 大介	
21	委員		障害・社会福祉関係	社会福祉法人和歌山市社会福祉協議会	会長	森田 昌伸
22	委員	(5)		和歌山市身体障害者連盟	会長	畠中 常男
23	委員	和歌山市障害児者父母の会		会長	岩橋 秀樹	
24	委員	和歌山市精神障害者家族会つばさの会		理事長	西本 晴美	
25	委員	和歌山市老人クラブ連合会		会長	瀧口 幹二	
26	委員	観光・物産関係	(一社)和歌山市観光協会	会長	尾花 正啓	
27	委員		(3)	和歌山市物産振興協会	会長	北畑 博史
28	委員		和歌山市商店街連合会	会長	永原 敏行	
29	委員	社会教育・交流関係	和歌山市ボランティア連絡協議会	会長	坂本 智	
30	委員		(5)	和歌山市婦人団体連絡協議会	会長	宗 眞紀子
31	委員		和歌山市青少年育成市民会議	会長	尾花 正啓	
32	委員		和歌山市自治会連絡協議会	会長	石井 太郎	
33	委員		和歌山市公民館連絡協議会	会長	山田 恒次	
34	委員		和歌山国際姉妹都市親善協会	会長	岩橋 延直	
35	委員	経済・産業関係	和歌山商工会議所	会頭	勝本 僊一	
36	委員	学校・教育関係	和歌山市小学校長会	会長	石本 倫章	
37	委員		(5)	和歌山市中学校長会	会長	神崎 信彦
38	委員		和歌山県私立中学高等学校協会	会長	藤田 清司	
39	委員		和歌山県特別支援学校長会	会長	東 晋平	
40	委員		一般社団法人和歌山県専修学校各種学校協会	理事長	坂本 順一	
41	委員	施設管理	公益財団法人和歌山市文化スポーツ振興財団	理事長	前 寿広	
42	委員	市行政	和歌山市産業交流局	局長	宮田 真吾	
43	委員		(2)	和歌山市福祉局	局長	松村 光一郎
44	監事	監事	和歌山市	会計管理者	太田 克弘	
45	監事	監事	一般社団法人和歌山青年会議所	理事長	川瀬 康喜	

第 36 回国民文化祭、第 21 回全国障害者芸術・
文化祭和歌山市実行委員会事業記録集

発行 令和 4 年 2 月

制作 第 36 回国民文化祭、第 21 回全国障害者
芸術・文化祭和歌山市実行委員会事務局
(和歌山市産業交流局文化スポーツ部
文化振興課内)